【 検査 】**503 抗核抗体（蛍光抗体法）定性（全身性エリテマトーデス）の算定について**

《令和7年4月30日》

○ 取扱い

全身性エリテマトーデス（SLE）に対するD014「5」抗核抗体（蛍光抗体法）定性の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

全身性エリテマトーデス（SLE）は、代表的な膠原病の一つであり、諸種の抗核抗体なかでも抗DNA抗体の介在を特徴とする自己免疫機序の関与の大きい疾患である。抗核抗体（蛍光抗体法）定性は、諸種抗核抗体に対するスクリーニング検査であり、SLEの診断における一次スクリーニング検査として、また、その病態把握のための検査としての基本となるものである。

以上のことから、全身性エリテマトーデス（SLE）に対するD014「5」抗核抗体（蛍光抗体法）定性の算定は、原則として認められると判断した。